

スーダンに食品乾燥機

大紀産業 ODA事業、タマネギ用



食品乾燥機製造を手掛ける大紀産業(岡山市)は、農産物であるタマネギの7日、外務省の政府開発援助(ODA)事業を通じてアフリカのスーダンに大型電気乾燥機2台を供与すると発表した。乾燥能力が120キログラムの

製品20台を、同国の主要農産物であるタマネギの農家向けに納入する。乾燥加工によって付加価値を高めることを通じて、生産者の所得向上に貢献したいとしている。まず2018年春、リバーナイル州などタマネギの生産量が多い3つの州に向けて出荷し、秋までに試運転や活用法の指導などを終える予定。スーダンではタマネギ生産が盛んだが、収穫量に応じて価格が大きく変動。乾燥機でスーパの具材などに使える保存用に加工することで、廃棄処分量の減少にもつなげる。

大紀産業の食品乾燥機は15年7月、国際協力機構(JICA)の中小企業海外展開支援事業に採択され現地で試験導入していた。今後はスーダン全土への納入を見据える。